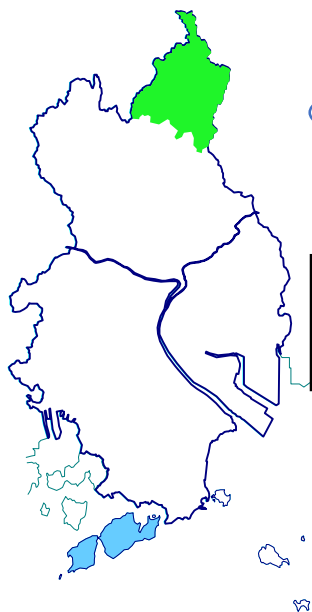


地域コミュニティの可能性を引き出す 「地域住民×外部人材(よそ者)×地元大学生(若者)」プロジェクト

【資料3-1】

目的

- ・持続可能な地域コミュニティの確立や活力ある地域の創生に取り組み、外部人材の獲得と大学生の地元定着につなげる。
- ・地域活性化のノウハウを大学に蓄積し、事業終了後も他地域での活動を展開させる。



山野町

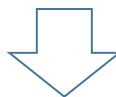
2地域をモデル
地域として活動

内海町

<課題>

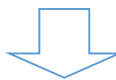
- ・人口減少が著しい
- ・高齢化率が高い
- ・地域産業の担い手不足
- ・地域づくりの担い手不足

	2017年 人口	2010年から の減少率	高齢化率
山野町	665人	▲19.9%	52.0%
内海町	2,616人	▲12.5%	47.6%



外部人材、福山市立大学と連携した
地域活性化

- ・魅力的な地域資源の掘り起こしと情報発信
- ・外部人材のスキル・ノウハウを活用した活性化策の検討・実践



新たな切り口による、
地域振興策の提案

地域	分野	取組(例)
山野町	農業を活かした地域づくり	・農産物の販路確保・拡大 ・耕作放棄地の活用
内海町	漁業を活かした地域づくり	・漁業の魅力を伝えるイベント ・海産物の販路確保・拡大
	民泊を活かした地域づくり	・体験プログラムの企画 ・受入家庭の増加
共通	地域の情報発信	・地域に関する情報発信
	空き家を活用した地域づくり	・空き家の調査 ・空き家を活用した地域の場づくり

<2地域の特徴>

- ・人口減少対策など、地域住民自らがそれぞれ活性化団体を組織している。
- ・民泊や空き家対策など、活性化に積極的に取り組んでいる。
- ・山間部と島しょ部という地理的特性が異なる地域を選定。

<効果>

- ・地域住民のやる気・やりがいの創出
- ・外部人材や地元大学生の継続した関わりによる、新たな担い手人材の創出
- ・他地域での活動へ横展開していく仕組み作り(プラットフォームの構築)